

平成30年7月15日  
今週のベストショット



雁レク7 雁の巣ライナース 対 三苦三球会戦

三回裏、三球会五番蓑原選手の2ランで逆転に成功するも、終わってみればドロー。

写真：奈多サンデーズ 野々下 利生久

**青松園B ホーネッツ連勝ストップ!パイレーツ吉田投手の粘りの投球に応えたのは小林選手!**

和白新町パイレーツ (3勝2敗2分) 0000001 1 吉田△-大濱

三苦ホーネッツ (6勝1分) 0010000 1 川原△-広木

**3BH**: 小林(新町パ) **2BH**: 本堂(新町パ) 塚(三苦ホ) **盗塁**: 稲葉(三苦ホ)

ここまで全勝のホーネッツ。チーム打率は3割を超え、エースの川原投手は防御率0点台の言わずと知れた強豪にパイレーツがどこまで食い下がることできるかが見所と思われたが試合は意外な展開となった。パイレーツ吉田投手は初回の一死二三塁の場面で四番の広木選手を三振に切って取り、五番川原選手に内野ゴロを打たせ最初のピンチを乗り切ると二回も無失点に抑えた。一方の川原投手は初回を三者凡退、二回には三者三振とさすがの投球を見せた。試合が動いたのは三回の裏、ホーネッツは先頭の塚選手が二塁打で出塁すると井出選手の犠打で一死三塁となり続く稲葉選手の内野ゴロの間に1点をもぎ取る。先制点を取られたパイレーツだが、その後も川原投手に対し五回までヒット1本に抑え込まれる。負けじと吉田投手も五回までホーネッツ打線を2安打に抑える見事な投球を見せるが、六回に再びピンチを迎える。先頭の稲葉選手、五番川原選手に内野安打を許すと味方の失策も絡み一死満塁となる。しかしこのピンチにも吉田投手は後続を内野ゴロと三振に抑える驚異の粘りを見せた。すると最終回、吉田投手の力投に応えるように先頭の小林選手がこの日一番の当たりを左中間深くに打ち込み無死三塁となり三番牟田選手の当たりが相手の失策を誘い遂に同点に追いついた。五番白岩選手も安打で出塁し勝ち越しを試みるが川原投手も意地を見せ後続二人が三振に打ち取られ同点止まり。吉田投手は最終回を三者凡退に抑え引き分けで試合終了。ホーネッツにとっては痛い引き分けとなったがとにかく吉田投手の粘り、精神的な強さが見えた試合だった。(記事・写真：奈多フェニックス 實延 新伍)



三苦ホーネッツ先発の川原投手。



和白新町パイレーツ先発の吉田投手。



三回表、貴重なタイムリーを打ったホーネッツ稲葉選手。



五回裏、チーム初ヒットを打つパイレーツ本堂選手。



捕邪飛を難なく捌くホーネッツ広木捕手。



七回表、同点の足掛かりの左中間三塁打を放った小林選手。

**奈多グラウンド 猛暑の予感の中での試合は・・・**

ブルーマーリンズ (6敗) 1 0 0 1 0 2 横山(祥) ●、児玉-横山(健)

ソルトベ이스ターズ (1勝5敗) 4 0 0 10 X 1 4 鶴野○-大門

**3BH** : 大門、松浦 (ソルト) **2BH** : 野口、近 (ソルト) **盗塁** : 吉田 (ソルト) 竹川 (ブルー)

夏を感じさせる猛暑の中での試合となった。一回表ブルーマーリンズの攻撃は二番末松、三番横山(健)選手の連続安打から四番糸井選手の犠牲フライで先制する。その裏ソルトベスターズの攻撃、二番坂本選手が四球で点を返す。このまま守備でも流れを作りたいブルーマーリンズだったが、四回裏から登板した児玉投手の制球が定まらず、途中降板。苦い投手デビューとなった。ここからソルトの猛攻で六番松浦選手や、代打選手のタイムリーにより、一挙10点を挙げる。ブルーマーリンズがなかなか守備でリズムが作れない中で、チャンスを確実にものにしたソルトに軍杯が上がった。(記事・写真：レッドサンデーズ 古賀 開)



ソルトベスターズ先発の鶴野投手。



ブルーマーリンズ先発の横山(祥)投手。



途中登板のブルーマーリンズ児玉投手。



一回表、ヒットで出塁するブルーマーリンズ末松選手。



連続ヒットで出塁するブルーマーリンズ横山(健)選手。



本日2安打のソルト野口選手。



一回裏、タイムリー三塁打を放つソルト大門選手。



併殺で守備を盛り上げる児玉選手と井上（紘）選手。



四回表、バントヒットで二塁まで達した井上（紘）選手。



四回タイムリー内野安打を放つブルーマーリンズ竹川選手。



四回タイムリースリーベースを放つソルト松浦選手。



四回裏、代打タイムリー二塁打を放つ近選手。

### 雁レク7 シーソーゲームの行方は・・・

雁の巣ライナーズ（2勝2敗1分）020102 5 有馬△ー明瀬（航）

三苦三球会 （3勝3敗1分）004010 5 吉留△ー蓑原

HR：蓑原（三球会）3BH：松尾、濱口（三球会）2BH：堺（三球会）

盗塁：明瀬（旭）2、久保田（雁の巣）濱口、堺（三球会）

立っているだけでもじわじわと汗が出る晴天の雁レクで始まったこの試合は先行の雁の巣ライナーズが三番中口選手、四番宇野選手などのヒットで早くもチャンスを作るもその後凡退に終わる。一方、三苦三球会はライナーズ有馬投手前に簡単に打ち取られてしまう。試合が動いたのは二回表、ライナーズはフォアボールやデッド

ボールで出塁を許すと、ワイルドピッチなどで簡単に2点を先制する。何とか追いつきたい三球会は三回裏、一番濱口選手の三塁打を皮切りに五番蓑原選手の2ランなども飛び出し一挙4点を取り逆転に成功する。逆転を許したライナーズは四回表に1点を返すも、五回裏に三球会に1点を取られてしまう。残り時間も迫る中、2点差を追うライナーズは六回表、本日も当たっている宇野選手の2点タイムリーなどで同点とするもそのままゲームセット。ライナーズは最終回逆転のチャンスもあったが、盗塁失敗などもあり悔しい引き分けに終わった。

(記事・写真：奈多サンデーズ 野々下 利生久)



三苦三球会先発の吉留投手。



雁の巣ライナーズ先発の有馬投手。



華麗なバントを決めるライナーズ山本選手。



三回裏、大量得点の口火となる一本を放つ三球会濱口選手。



三回裏、2ランHRを放つ三球会蓑原選手。



この日数々の好プレーを見せてくれた三球会大津選手。



六回表、同点タイムリーのライナーズ宇野選手。



同点のホームインライナーズ中口選手。

### 青松園A 三苦フレンズ山口投手の見事な完封勝利

三苦フレンズ（6勝1敗）1500000 6 山口○-佐藤（由）

新町ウインズ（4勝1敗）0000000 0 藤田●-今林

盗塁：吉村（三苦フ）

強い日差しが降り注ぐ中、行われた三苦フレンズ対新町ウインズの試合は両チーム、好投手を擁するため投手戦が予想されたが、一回表から試合が動き出す。先行のフレンズは二番佐藤（由）選手が相手エラーで出塁、つづく三番生野（拓）選手が送りバントが内野安打となりランナー二三塁のチャンスを迎える。その後二死となり五番佐藤（博）選手がしぶとくセンター前ヒットを放ちランナー1人が生還。続いて二塁ランナーも果敢にホームを狙ったが、センター桐島選手の好返球でタッチアウトとなり2点目を阻止した。一方ウインズは一回裏3人で抑えられフレンズの山口投手は上々の立ち上がりを見せる。二回表フレンズは四球と相手エラー等で満塁となり、一番打者の内野ゴロがフィルダースチョイスを誘い2点目。更に二番佐藤（由）選手がライト前ヒットを放ち2点追加。その後エラーが絡んでさらに1点追加して、一三塁となりここでなんと三塁ランナーの吉村選手がホームスチールを決め6点目となり試合の主導権を完全に握ったフレンズは、エース山口投手が11三振を奪い見事に完封勝利を収めた。一方ウインズは、三回以降藤田投手が立ち直り、緩急をつけた見事なピッチングで0点に抑えたが、打線は1人ランナーを出すものの後続が倒れ今季初めての1敗を喫した。

（記事：奈多クラブ 久保 隆司、写真 今林 賢人）



試合前の両軍整列。



新町ウインズ先発の藤田投手。



三苦フレンズ先発の山口投手。



一回裏、先頭打者泉選手を空振り三振にする山口投手。



二回表、ホームスチールを決めるフレンズ吉村選手。



三回裏、ウインズ唯一のヒットを打つ山口選手。



三回裏、ウインズ安藤選手も足を活かせず三振。



五回表、フレンズ佐藤（博）選手のサードライナー。



五回表、デットボールに悶絶するフレンズ寺山選手。



暑さの中、日陰から観戦の9番WSL久保田会長。

## 第12週編集後記

第12週、7月15日は4試合が行われました。

青松園Bの和白新町パイレーツ対三苦ホーネッツ戦は、ホーネッツが三回裏に堺（恭）選手の二塁打を足がかりに1点を先制すると、川原投手は五回二死まで完全試合。1安打されるも虎の子の1点を守ろうとするが、七回表パイレーツ二番小林選手が三塁打を放ち相手エラーで追いつき1-1の引き分け。ひよんな相手に白星を逃した全勝のホーネッツに対し、吉田投手を中心にホーネッツ打線に10安打されるも1点で凌いだパイレーツ守備陣に拍手。

奈多グラウンドのブルーマーリンズ対ソルトベイスターズ戦は、どちらも1勝が欲しい。初回到幸先よく1点を挙げたブルーマーリンズだったが、先発横山（祥）投手が5四球3安打され早くも逆転を許すと、いつもの展開へ。四回裏にソルトベイスターズが7四死球5安打で一挙10点を入れ、2-14で勝利。四死球が多く、守備のリズムも作れない展開に暑さも加わり、敗れたブルーマーリンズには疲労が残る一戦だった。

雁レク7の雁の巣ライナーズ対三苦三球会戦は、ライナーズが2点を先制するも三回表に三球会五番蓑原選手のHRなど長打を絡めて4点を取り逆転。1点ずつを取り合い、最終六回表、それまで三打席出塁しているライナーズ四番宇野選手がこれぞ四番の仕事・2点タイムリーで追う点に追いつき、両チームともDP、FPを使用しての総力戦は5-5の引き分け。

青松園Aの三苦フレンズ対新町ウインズ戦は、全勝のウインズと1敗のフレンズ戦、どちらも強力徒手を有するが、初回から明暗が分かれる。二回で6点を挙げたフレンズは山口投手がフレンズ打線を1安打に抑え6-0の完封勝利。

全勝チームが無くなり、混沌の夏を迎えます。

殺人的な暑さが続きますが、その分集中しないと十分力を発揮出来なくなります。

睡眠を十分とり、早起きして試合に臨んでほしいです。

9月8日（土）の運営会議後に毎年恒例の「G o ! D o ! 飲み会」を開催します。

執行部、各チームの運営委員、記録委員、編集部員、その他参加したい方は、チーム毎に参加者名を編集部長へのメールにてお知らせください。

締め切りを9月5日（水）とします